

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

- 発展的な課題に挑む力の育成(Active)
- 基礎学力の確実な定着(Adaptive)
- 粘り強く取り組む子どもの育成(Assistive)

【学校 目標】

- 「協働学習を通して主体的に学ぶ子の育成」
～算数科・体育科において子どもが解決したいと思う課題設定を通して～

【現状と課題】

- 視点1 学習意欲に個人差が見られ、学習内容の理解についても同様のことが言える。
- 視点2 子どもを力を引き出そうとすればするほど、教師の出番が増えてしまっている。
- 視点3 子どもの見取りや情報交換は、日ごろから密に行われている。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○「老西スタイル」(毎時間の授業の流れ:問題提示→気付き・見通し→一人で考える→共学び→一人で考える→振り返り)の定着 ○技能の習得や知識の理解よりも、教科の特性や良さに触れる学習づくり	【取組事項】 ○子どもが主体の協働学習「共学び」の定着 ○学習環境のユニバーサルデザイン化	【取組事項】 ○レディネス問題やアンケートによる子どもの実態把握 ○学習後の子どもの変化の見取りの強化

その他 取組事項

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体				
視点1	○「老西スタイル」(毎時間の授業の流れ:問題提示→気付き・見通し→一人で考える→共学び→一人で考える→振り返り)の定着	①学び確認テストでの算数の平均正答率が前年度を上回る。		
視点2	○子どもが主体の協働学習「共学び」の定着	②児童アンケートによる「算数の勉強が好き」の肯定率が70%以上になる。		
視点3	○学習後の子どもの変化の見取りの強化	③学び確認テストでの算数の「無回答率」の割合10%が以下となる。		
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--